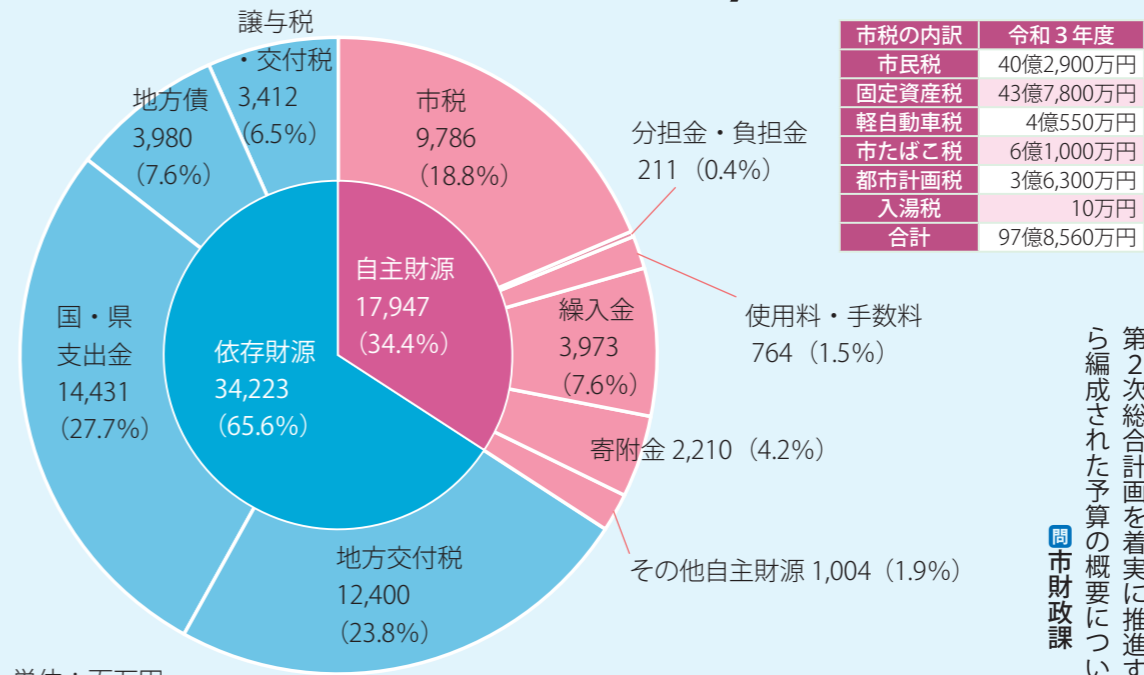


令和3年度当初予算

令和3年度鹿屋市当初予算が令和3年3月鹿屋市議会定例会で議決されました。人口減少社会を見据えた第2次総合計画を着実に推進するため、4つの視点から編成された予算の概要についてご紹介します。

鹿屋市財政課 TEL 0994-311126

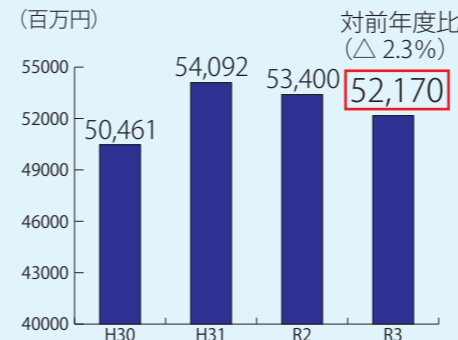
一般会計（歳入）521億7,000万円



区分	令和3年度
市民税	40億2,900万円
固定資産税	43億7,800万円
軽自動車税	4億550万円
市たばこ税	6億1,000万円
都市計画税	3億6,300万円
入湯税	10万円
合計	97億8,560万円

単位：百万円

一般会計当初予算額の推移



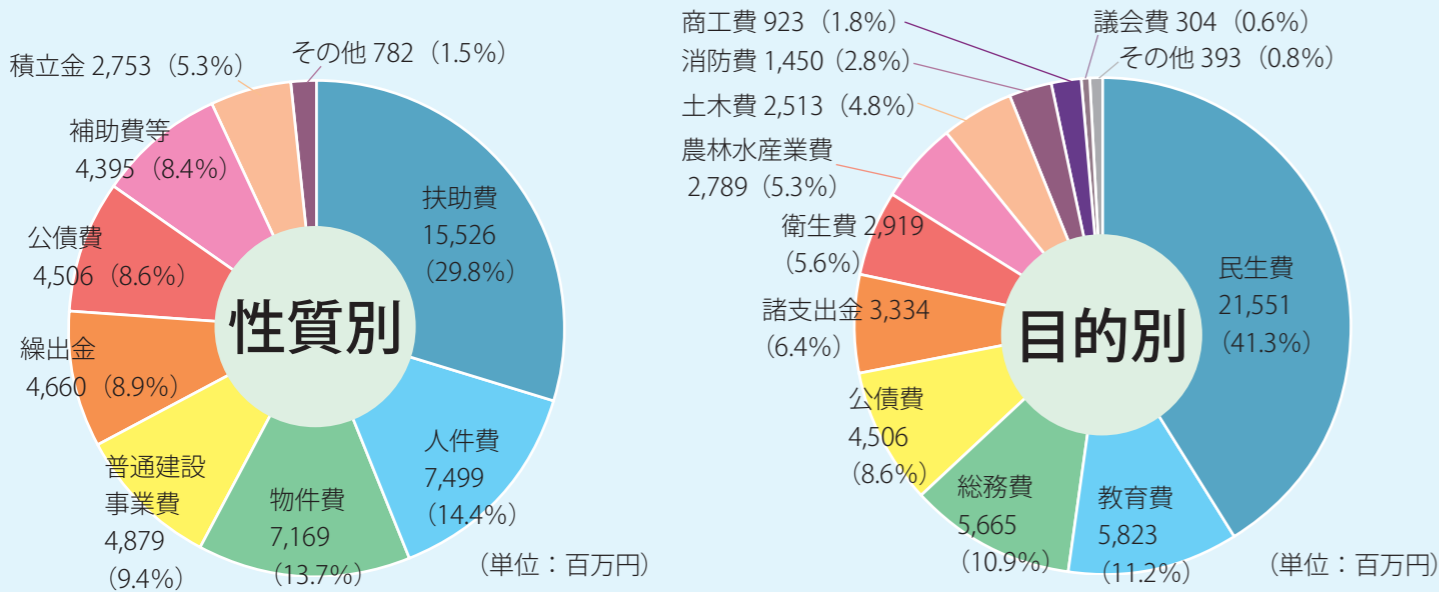
特別会計

特別会計区分	令和3年度	対前年度比
国民健康保険事業	116億7,209万円	1.2%
後期高齢者医療	13億8,848万円	0.9%
介護保険事業	118億445万円	3.0%

企業会計

区分	水道事業	対前年度比	下水道事業	対前年度比
収益的収入	18億5,826万円	3.1%	9億8,095万円	△1.4%
収益的支出	16億5,345万円	1.3%	9億1,295万円	△4.7%
資本的収入	5,072万円	2.9%	2億168万円	△14.0%
資本的支出	8億8,467万円	3.0%	5億8,449万円	△2.2%

一般会計（歳出）521億7,000万円



市民一人当たりの予算額 ※一般会計の歳出額を、令和3年2月1日現在の人口100,898人で割った額

区分	金額 (百万円)	割合 (%)
民生費 (子ども、高齢者、障がい者の福祉増進等)	213,590	41.3%
教育費 (学校の管理運営・整備等)	57,714	11.2%

地方消費税交付金の引き上げ分を活用する事業

- 子ども医療費助成事業
- 幼児教育・保育無償化等事業
- 地域子ども・子育て支援事業

※消費税の税率引き上げ分に係る交付金は、社会保障施策に要する経費に充てられています。



新「副市長」が就任
副市長に就任する鈴木健太氏

新「副市長」が就任
宮地修平氏の副市長長退任に伴い、3月23日、3月議会定例会で、新副市長に鈴木健太氏（39歳）が選任され、4月1日から就任することになりました。

（経歴）

筑波大学第二学群卒業後、平成16年に農林水産省に入省し、農村振興局農村環境課課長補佐、食料産業局ハイオスマス循環資源課課長補佐、大臣官房政策課企画官等を歴任。



鹿屋市長 中西茂

施政方針 “ぬくもりと豊かさを実感できる明るい未来づくり”の実現へ

今年私の2期目の締めくくりに年となります。これまで、市民の皆様のご幸せと地域の豊かさを目指し、職員とともに何事にも失敗を恐れず、諦めず取り組めたことは、皆様のあたたかい御理解と御協力によるものと深く感謝申し上げます。

国は、コロナ禍において新たな成長の原動力として「デジタル化をダイナミックに進めること」、また、「グリーン」は、2050年に温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指すこととしており、私たち一人ひとりが改めて社会のあり方等を見直して

全体で稼ぐ力を高めていきます。 **持続可能なまちづくりの推進** 激甚化・頻発化する災害から、市民の生命と暮らしを守るため、国、県等と連携し、効果的な治水対策に取り組むとともに、地域の発展につながる広域交通ネットワークの整備促進に向けた取り組みを進めてまいります。

また、地球温暖化やごみの減量・リサイクル化など、SDGsの実現に向けた取り組みを促進し、持続可能な社会づくりを市民の皆様とともに進めてまいります。

安心して暮らせるまちづくりの推進 新型コロナウイルスワクチン接種については、全ての接種対象者へ迅速かつ円滑にワクチンが接種できるよう努めてまいります。

また、市民が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、大隅4市5町で救急医療体制の運営強化に取り組むとともに、引き続き地域包括ケアシステムの充実や、地域共生社会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

このほか、スポーツ施設の整備等を推進するとともに、市民

いくことが求められております。市政運営については、このような時代認識を踏まえ、人口減少社会を見据えたまちづくりの羅針盤となる第2次総合計画を着実に推進してまいります。

なかでも、令和3年度においては、

- 新しい働き方・暮らし方への対応
- 持続可能なまちづくりの推進
- 安心して暮らせるまちづくりの推進
- 未来につながる投資の推進

新しい働き方・暮らし方への対応 新型コロナウイルスの感染拡大により、デジタルトランスフォーメーションが進むことから、ICTを生かした市民サービスの向上・業務改善に取り組むほか、スマート農業や観光分野におけるVR（仮想現実）技術の活用など、様々な分野でデジタル化を推進してまいります。

また、YouTubeを活用した情報発信や、インターネットを活用したクラウドファンディングの活用などを促進し、地域

が気軽に参加し、楽しみながら運動の習慣化につながる仕組みづくりに取り組んでまいります。

未来につながる投資の推進 魅力ある地域資源のブランド化や、6次産業化による高付加価値化、販路開拓など、産業振興に取り組むほか、サテライトオフィスの誘致促進や、観光メニューの開発、ふるさと納税の推進など関係人口・交流人口の拡大を図ってまいります。

また、市民が安心して出産・子育てをできる環境の整備や、若者が気軽に集える場の創出、U・イターン施策の充実等に取り組んでまいります。

このほか、小・中学校においてICTを活用したGIGAスクールの実現や、特色ある英語教育の充実等に取り組む、子どもたちの学力やコミュニケーション能力の向上等に努めてまいります。

令和3年度は、コロナ禍での市政運営となりますが、引き続き「ぬくもりと豊かさを実感できる」市民が主役の明るい未来づくりの実現に向けて一歩一歩着実に前進してまいりたいと考えております。